

大阪探検隊

Osaka City Expeditionary party

平成OSAKA天の川伝説

2010 +中之島公園におしゃれな
レストランがオープン

平成22年7月7日の七夕の夜、人々の願いごとを込めたLED光源による光球「いのり星」を大川に流して「天の川」を演出するイベント「平成OSAKA天の川伝説2010」が行われました。今年で2回目となる同イベントでは、去年は2万個だった「いのり星」が今年は5万個と規模も大きくなり、観光客の多くはその幻想的な風景にしばし酔いしれていました。

八軒家船着場周辺～天神橋

19時すぎに「いのり星」を船から放流。ゆったりと川面を流れるその様は、大阪の夏の新しい観光資源を演出するとともに、「ふだん見られることのない川面を見つめる機会を提供することによって、水資源・水環境に対する感謝の気持ちを醸成することも目指す」という目的を見事につくりあげていました。

ビルや広告塔などのライトアップ施設や屋内照明の消灯を呼び掛ける「ライトダウンキャンペーン」も同時に行っていたため、天神橋のライトアップは途中で消灯されましたが、点灯中は水面をゆっくりと流れる「いのり星」、「橋」、「船」、そして背景となる都心部のビル群の風景がマッチして、ひとつの「絵」として、大阪の夜を創造しています。



(写真上) 八軒家船着場周辺の様子
(写真中) 「いのり星」放流風景
(写真下) 天神橋方面

天神橋～中之島公園

ただ、残念であったのは、遊歩道や中之島公園は視点場として一部を除き滞留をすることができますが、一番の視点場である橋の上は安全確保のため停滞することできないという点です。

橋は通行という機能とともに、川を縦断的に眺めることのできる絶好の視点場であるため、場所や人数を制限することで可能にするといったことが求められます。



(写真上) 天神橋から下流を望む (歩行しながら撮影)

中之島公園では、流れ着いた「いのり星」があたり一面に滞留し、面としての光をつくりあげ、八軒家船着場周辺とは趣の異なった光の風景を構築。滞留した「いのり星」は船で回収しているのですが、ここで「いのり星」の光に疑問が。回収した「いのり星」は、そのほとんどの光が消えています。確認をすると、水に反応してスイッチが入るということです。形状は異なりますが、実際に「ライトキューブクリスタル」という名称で既に製品化もされています。

(写真左) 天神橋 (点灯時)

中之島公園におしゃれなレストランがオープン！

イベントに先立ち、6月には中之島公園におしゃれなレストランが2店舗オープンしています。1店は、ばらぞの橋周辺に5月～10月までの期間限定で営業をしている「R」 RIVERSIDE GRILL & BEER GARDENで、1店は京阪中之島線のなにわ橋駅南にある「GAR B weeks」です。

今回、期間限定であるということから「R」…に入り、心地よい夜風に吹かれながら、「いのり星」が流れる堂島川の風景と料理を堪能するという贅沢な時間を過ごすことができました。



(写真上) "R" RIVERSIDE GRILL & BEER GARDEN

店内の様子

(写真下左) 同外観

(写真下右) GAR B weeks 外観

